

日日は節分

佐藤 牧堂

思いのほか大雪になつた。雪が積ると、室内が暗く、戸のあけたてが憶切になり、掃除も間にあわせない。掃除機も、家の不潔になる。細菌類は人間より寒さには強いし、此の不潔な事が彼等としては有難いので、目に見えない病菌が好機到来と人間の五官にのびよる。太陽が当らないので、その紫外線による一斉照射という消毒退治法もない。ふとんは湿つて、たまにコタツに乾すと、コタツ板の裏が濡れる。ある人がこの湿り気をビニールの布で集めたら茶碗一杯たまつたそうだ。この中に蒸されているのだからたまらない。人間の抵抗力を高める各種のビタミンは冬の貯蔵野菜には殆んど消え失せている。陰湿な雪国の農村に慢性病が多発するのも無理はない。正月気分も夢の間で、大寒から二月半までは一年中で最悪の時と云わねばならぬ。もう地熱も下つて井戸水はめつつきり冷たくなつた。

「炊き出し」におもう

この地方には古くから不時の災害があつた時に「炊き出し」をする慣習があるが、これは相互扶助の精神のあらわれであり純朴な農村にだけしかみられない美風ではないかとおもふ。おそらく子々孫々の代までもうけつがれてゆくことであらう。しかしこれにも時代によつたやり方がある筈。依然

る。流しの不潔、便所の悪臭、寝室の塵埃。たまに、他人の様に自分の家の中を点検してみると、実に改善しなければならぬ所が多い。正月前あれ程一生懸命に払つた天井に、もうススガゆれてゐる。風の奴、一網打尽して暫く安心してゐるとまたどこから潜入する。ハハア此所が彼奴らの通路であつたか、夏目漱石の猫はこの通路にひかえて、東郷大將がロシアのバルチック艦隊を待ち構えた気分が威張つたさうだが、大人が掃除に心を持たないで此の闇路を発見しないてくやしがらる。油断は大敵である。主人が筆を持つて鬼よりこわい病原菌を掃き出す、

公民館図書

の借り方

公民館図書の利用率は、年々上昇の一途をたどつており、最近特に借出閲覧者が増加して、従来の貸出し方法では整理がつかなくなつた。二月から次の如く貸出閲覧方法としたのでお知らせ致します。

◆図書を借りる場合◆
(1) 図書を借りる時は、図書券を持参しなければならぬ。図書券は一枚五円で、最低三十回使用さうだ。

◆「炊き出し」以外の金品とす。◆
その他解決策はいくらもあるとおもう。部落の会議や役場の区長会で話しあつてもいいことだ。もちろんだらう。種類によつてもちがうがその人の立場になつてみればよく考へてみる。うしろの改訂をよめることとはどうなるか。

◆図書を返す場合◆
図書を返納するときは、必ず係りに手渡し、返納の確認を得ると同時に、係りにあづけてある自分の借出カードを受取つて下さい。

◆貸出閲覧時間及び休日◆
貸出閲覧時間は、午前九時より午後五時迄、但し祭日、日曜日は休み、土曜日は正午迄貸し出します。

雑感

大雪は六十年毎に来るとか、ソ連が間宮海峡を埋めたので雪が降らなくなつたとか、色々な噂をあちこちで聞かされてゐるうちに、これみよがしにたちまち大雪となつた。あわてゝカンジキを作るやら、雪樋にローをぬるやらで大さわぎとなつたが、又雨模様になり雪崩の跡の黒土に、青い若草の芽がのぞき、わずかにあるが春のきざしを感じさせる今日この頃である。白い雪ばかりみづめていて、たま／＼やわらかい黒土をみると、大地のぬくもりが胸にしみこんで来るやうななつかしさを感じる。生命あるものは全て土から生れ、大地の乳房に育つてゆき、やがて土にかえつてゆく自然の法則を、本能的に感じるからであらうか。いや、雪国の人でなければ味わい得ないものかも知れない。何れにしても、われわれの眼一杯に黒土が展開する日も近い。その時は、しつかと大地にふんばつて仕事の出るよう、計画や準備を今から進めておこう。

成人を祝して

中里村公民館 大島 孝平



大島 孝平氏

成人に達せられた皆さんおめでとうございませう。一月十五日の「成人の日」に村を挙げて皆さんをお祝いすべきでありましたが、冬期出稼者多数のため、折角の式典を、止むなく延期せざるを得ないことは甚だ遺憾にたえない。

皆さんは、昨日までの子供の生活が、今度は選挙権が与えられ、国政に参入出来、国民として押しも押されぬ重要な一人前の社会人として、社会的にも法的にも認められたのでありませう。換言すれば、彼は彼、我は我、独立歩行等の関係に立つた訳であります。

村育英資金

貸与希望者受付

村の育英資金を借りたい者を次の要領で受付けます

一、申込資格者
高等学校を卒業したもの、又はこれと同等以上の資格を有するもので、大学へ入学しようとするもの、又は現に大学に在学中のもの、

二、適要人員
五人以内

三、申込期限
三月五日

四、申込み
希望者は教育委員会に御相談下さい。

(中里村育英事業委員会)

農業講座開設

二カ所で講演会も

二月二十日から四地区で去る二月九日、中里村公民館に於いて、中部地区農業改良普及所、農協、役場の産業経済、公民館の各関係者が、合同会議を開き、本村農業の発展と合せ現在未開拓である成人教育の推進を図る為、二月二十日より、貝野、倉俣、高道山、清津峡の四地区に、冬期農業講座を開設し、更にこれと平行して、村内二ヶ所で農事講演会を行なうこととなり、村民多数の参加を期待している。

冬期農業講座要綱
△趣旨▽ 近年科学技術の進展に伴つて、農業生産にも著しい進歩がみられるが

柔剣道大会

田沢小で行わる

一月三十日、第一回中里村柔剣道大会が、田沢小学校体育館で行なわれた。参加選手は柔道十三名、剣道五名で、冬期出稼者がたたり少なかつたが、冬ごもりの睡気を吹きとばすように、気合のこもつた好試合が行なわれ、左の選手が入賞。

▽柔道の部
一位 樋口 正治 初段
二位 樋口 一夫
三位 大島 幸蔵

◎五人抜き
阿部 一男 二段
羽鳥 直嗣 二段

▽剣道の部
一位 村山安太郎 三段
二位 野上 陽一
三位 柳 栄作

(写真)は柔道の新優勝者の表彰

廿歳の声

成人になって

服部アツ子

私が学校生活を終り、社会の一員になったのは、つい昨日のことのようすが、早くも二年が経過しようとしています。その時分、社会人となることを喜ぶと同時に、今までの何の屈託もなくすくして来た楽しかった学生生活への未練、それにひきかえ、これからの未知の生活への不安等、まづたく複雑な心境だったことを覚えています。

よくよく成年に達するこの出来た今、その時の気持ちとともによく似ているような気が致します。短い二年間で、一介の社会人として実社会でなくては、遭遇することの出来ない種々の経験を積み重ねてきました。私は自分なりに世の中を理解して生活してきましたが、誰からも干渉されず、幸いそれほどの困難にも出あいませんでした。

た。これからはますますと今までのようであつてほしいと思ひますし、自己のペースを行くことが、私の念願です。若い無軌道な人間が、各々自分勝手な考えを主張しては、まともがなくなると、立派な社会の出来ようはずがありませんが、そうかといつて一人一人の個性を育みつつ、伸びようとする芽をつみとつていつたならば、必ず現代社会にふさわしくない意志の弱い、しんのない大人となつてしまふでしよう。その意味でもこれからが訓練の場でもあります。大人の世界に足をふみ入れ、そのまますこに腰をすえてしまふのでは

北原、佐藤両主事を囲み

＝ 部落学級の見学と全体集会 ＝



二月三日、県社会教育主事、北原、佐藤両先生を迎え、午前十時より山崎婦人学級第二グループの学習活動を見学し、部落学級の見学と全体集会を行った。

なく、自分達の若い正しい眼で批判し、よい面を学びとる精神をいつまでも、持ち続けたいものです。それには時々集會を持ち、お互いに積極的に話しあい、是正しあふようによいでしょう。若人らしく、スポーツ、映画、音楽等をたのしみ、その中から何か習得出来ればそれもよいと思ひます。毎日の忙しさの中にも、うるおいのある楽しい生活でありたいと念じています。三十年、四十年後の社会を考えると、昨日の生活を反省し、昨日より今日を、今日より明日を、より誠実に生活することだけが頭がいっぱい입니다。

三学期も後わずか。卒業期を控えた学生は、進学、卒業就職などで、喜びと期待と不安で、落ち着かない毎日を送つてゐると思ひます。特に進学や就職の問題から、あせりや不安にかられ、この悩みに耐えきれず、家出や自殺など、思いもよらない行動を起して、人生の道を踏み迷う悲劇が、毎年多く起つてゐます。これはよそ様の出来事ではなく、私たちの家庭内にもいつ起るかも知れません。学校にのみまかせてはいないで、家庭でもこの子どもの心情をよく理解し、いたわりの気持ちで相談に乗つてやるよう心がけることです。ところが、逆に親の見栄とか、世間体とかで、子どもの進学や就職に無理な注文をするのをよく見かけますが、これは子どもにとつて心身ともに大きな負担をかけられることで危険なことである。

◇中学生について

中学生は、生徒の精神も肉体も急速に伸びる時期で

温く見守ろう

卒業期を控えた家庭へ

社会教育関係者の、全く協力して来たたまものであつた。

す。その反面とかくバランスがとれず、心の動揺がはげしく、問題の多い時期です。特にこの卒業期を迎えた生徒は、進学準備の過労や、就職への不安で、いらしたたりする時が多いと思ひます。その上、必ずしも当人の希望通りにいかない場合もありますから、家でもよく気を配つてやることが大切で、従つて過重な期待や負担をかけすぎないよう、温く導いてゆかねばならない。

◇高校生について

高校の生徒はもうかなり年令的にも進み、理性的にもなつてきていますから、社会的にも適応できる力や、自主性、自律性をいっそう高めるよう、家庭でも考慮していただきたいところです。しかしまだ経験が浅いから片寄つた判断をまぬかれぬ点もあると思ひますので、常に動静を見守り、話し合いを通して助言してゆくようにすることがよいでしょう。

こんにやく栽培は

生産から荒粉加工まで

(産業経済課)

中里村蒟蒻組合は、昭和三十年細作換金作物として発足し、本場群馬より種子の導入と技術指導を受けて昨年度から生玉を出荷する段階となり、わずかに四年目ではあるが、年産八屯を出荷する程の成果を収めた。ために、群馬蒟蒻試験場の技術指導を受け、種玉の貯蔵、栽培技術の改良、病害防除の徹底を図り、特に栽培についての立地条件は極めてよく、新潟県下各地に比較して、永年栽培も可能だと折紙をつけたので、組合長中島政平氏外二十一名の全組合員が「畑作換金はこんにやくから」との意気込みで張り切つてゐる。

生玉については本場群馬に蒟蒻加工場を設け、生玉を生産時期の安値を業者に買いたたかれるのを防ぐため荒粉加工して保存し、消費時期の高値を目標に販売する計画をたて、いつも生玉で販売するより有利に販売出来るので、価格も安定し安心して栽培に専念出来るようになり、栽培から荒粉

販売まで一貫した方針をづけてゐる。

本年産の荒粉製品は、本場下仁田産のものにも遜色のない歩止りで、一九・八〇％という成績を収め、しかも群馬県検査規格によつて、受検の結果優等の格付製品もでき、本場でも新潟こんにやくの劣等感を吹き飛ばすという驚異的な実績を得たので、こんにやく市場下仁田に於いても、本場産と肩を並べて優秀な商品として売出出来るようになり、群馬各方面から越後中里こんにやくが脚光をあび注目されるようになった。

中里蒟蒻組合長中島政平氏は当組合が畑作換金として蒟蒻を採りあげ、群馬の蒟蒻技術者を招聘して、こんにやくに対する立地条件を調査してもらい、その結果適地であることが確認されたので、同志が結集し、こんにやくに対する知識を習得し、未だ月日も浅いが、本年度産の荒粉加工の成績をみて本県でも、本場群馬に負けないような優秀品質

のものが出来ることが立証され、金く夢のようだったと語つてゐた。

これは、生産業者各位のたゆまざる努力の賜であり将来益々越後こんにやくを

昨年十月二十七日付で、農林事務次官通達により、農地の転用許可基準が制定になり、今迄の取扱方法が改正になりました。

この取扱の主な点を挙げますと、今迄は建坪面積十坪に対し三十三坪が最高積算許可基準でしたが、今度は次のようになりました。

(一) 一般個人住宅及び店舗付住宅

建築面積(建坪)の四、五倍強とし、敷地面積の最高限度は百坪迄で、建築基準法に定める建築物を建築するときは、同法の定める最少限度の敷地面積。

(二) 農家住宅

専業農家、農業を主とする兼業農家の場合、開拓地における住宅敷地の配分面積を限度とし、平均三百坪。農業を従とする兼業農家にあつては、前記の基準を

「中里こんにやく」の名称で発展させるため、村内一円にわたる、畑作利用の一環として奨励していききたいと考えてゐる。

ようにして下さい。

(この方法は、役場の地籍係にお聞きして下さい。)

これが終了したら登記所から登記簿抄本をもらつて来る訳ですが、農業委員会が一筆の証明料四〇円を預り、代つて取ることも出来ます。

この抄本を申請する人の住民票の抄本をつけて印鑑を持つて、農業委員会に申請することとなります。

住民票の抄本は、役場の戸籍係で、一件五〇円づつあります。

農業委員会ではこの申請があると、委員会で審議して、県に達達し、県の委員会が審議して、知事の許可証交付となります。

これで始めて建築に着手出来ることとなりますが、少なくとも申請されてから三ヶ月位かかりますから、建築しようとするときは、早く申請するようにして下さい。尚不明の点は農業委員会にお問合せ下さい。

許可になる前に建築した場合、農地法違反として取り除きや、罰せられることがありますから、充分注意して下さい。

尚許可をする条件として資金の計画(この資金の裏付けとしてこれを証する書面が入ります)や、許可になつてから六ヶ月以内に建築する事が限られてゐます。

この外建築しようとする位置の選定についての定義ですが、村を三種に区分したのですが、紙面の都合上省略することにして、要するにこの基準制定の目的は、農地として生産力の低い農地や、近いうちに市街地化される第三種農地に、転用